



# 山本 陽子

日本共産党  
京都市会議員



Yamamoto Yoko 9月市議会報告

## 「戦争はあかん!」「戦争法廃止」の声広げ、政治を動かそう!

「だれの子どももころさせない」「民主主義ってなんだ!これだ!」。ママ・パパや、若者が政治に声を上げています。「京都からも国に声を上げよ!」と、日本共産党市議団は代表質問で門川市長の政治姿勢を質しました。

「国が決めたこと」との答弁で態度を示さないのは、憲法違反の法律の強行採決を追認することと同じではないでしょうか。民主主義や立憲主義をないがしろにする国の政治にも言えぬ地方自治体では、市民の命や暮らしは守れません。みなさんご一緒に、戦争放棄の憲法守れ! 戦争法廃止! の声を上げましょう。



URL <http://yamamoto-yoko.jp/>

profile: 市会議員1期、まちづくり委員。兵庫県丹波市出身。立命館大学産業社会学部卒業。大学時代、障害児学童の指導員として活動。民主的法曹・弁護士目指し司法試験に10回挑戦。結婚・出産後、新婦人山科支部常任として活動。



### 市長総括質疑で取り上げました「待機児童ゼロって本当?」

京都市は、保育園も学童保育も「待機児童ゼロ」を達成したと発表しています。しかし、それは国基準の狭い「待機児童」の定義を当てはめているから。「保育の必要性」の要件に該当するのに、兄と同一園を希望したり、幼稚園の預かり保育を断って入園できない場合は「待機児童」に該当しないというのです。

それはおかしい! 市長総括質疑では、「小さい子を育てながら働くというのは本当に大変で、保育園を限定することは『自己都合』で切り捨てられることではない!」「子育て支援充実ということは、待機児童の定義に当てはまらず、入園できなかった637人の保育園入園を保障することだ!」と訴えました。

「待機児童ゼロ」と言っている場合ではありません。



### 近隣の公園がない! 荒れている! 公園の増設・整備を求めました

身近にある公園は、子どもの遊び場であり、住民の憩いの場であり、災害時には避難場所として防災の機能も果たします。公園は地域生活に必要な空間であるからこそ、京都市も市民1人あたり10㎡の公園整備目標を持っています。しかし、現在、京都市の管理する公園は約900ありますが、整備目標の半分にも届かない状況(市民1人あたり4.76㎡)で政令市の中でも下から4番目。学区に一つも公園がない地域もまだ残っています。

南区の宮の森公園は完成から50年以上たっており、陶器の破片が地中から出てきています。インフラ整備が追いつかないまま開発された小金塚にも公園が必要です。梅小路公園や岡崎公園のように観光客を呼び込む大公園の整備に多額の予算を注ぎ込むのではなく、市民のための公園整備にもっと力をいれてほしい。そんな思いを訴えました。



ママチャリ奮戦記

子どもがまだ小さいので、私や父親に連れられて一緒に街頭宣伝に行くことがあります。「戦争いらない! 子どもを守ろう!」のコールも自然と口ずさんでいます。名前に「和」のつく長女が詩を書きました。

「平和」  
平和はだいじ 平和はいいね 平和をまもろう  
平和をまもるみんなはいいね 平和をまもるとみんながよろこぶ 平和をまもるとみんなはしなない  
平和をまもるとなんでもできる

いつも宣伝で口ずさむフレーズから、思考を発展させて「平和をまもるとなんでもできる」とたくましい言葉で結ぶ文章に、素晴らしい!!と親バカの感想。

子どもたちは、その感受性でたくましく成長している! うれしくなりました。

子どもたちの未来と平和、守る責任を果たさなければ…。



お困りごとでもお寄せ下さい!

日本共産党東地区委員会 TEL.591-7851